

でんでら通信 第百十号 令和五年六月

夏予定

七月二日(日) 八時 境内清掃

下村、川北、諏訪の檀家様参加

(今夏の猛暑を考慮して早めます)

七月中旬 四日市方面 棚経まいり

八月上旬 菟野方面 棚経まいり

八月中旬 各地棚経まいり

八月二十三日(水) 十時 山門施餓鬼供養

新亡施餓鬼供養

十一時 一般施餓鬼供養

※ コロナも第二類から第五類へと移行しました。

これからは、感染防止対策は個人に委ねて、寺行事は通常通り行ってまいります。

坐禅会

六月二十九日(木) 十時に坐禅会を開催します。

みなさんのご参加をお待ちしております。

陰徳(いんとく)

「陰徳」とは、人知れず行っている善行のことを指します。

人に知られることなく、善い行いをするから陰徳になるので、自慢げに善行を語ってしまうと陰徳とは呼べません。

陰徳を積むためには、道具も要りませんし、特別な場所も必要ありません。陰徳を積むために必要と

なるのは、徳を積もうという心だけです。

アメリカ大リーグ、エンゼルス球団に所属する大谷翔平選手のゴミ拾いという善行が話題となりました。ご存じの方も多いことでしょう。

ことの発端は、二〇二二年六月一七日の本拠地アナハイムでのタイガース戦でした。フォアボールで一塁へ向かう途中、大谷選手がさりげなく行った「ゴミ拾い」でした。

初回の第一打席で、大谷選手がフォアボールを選んだ場面で、肘当てなどを受け取りに来た、ボールボーイの肩を優しく叩き、一塁へ歩き出しました。すると、数歩行ったところで視線を落とし、何かに気づくとさっと拾い上げ、そのまま左ポケットに入れたのです。どうやら、グラウンドに落ちていたゴミを回収した様子でした。ほんの一瞬で、当時は

日本でも、あまり話題にならなかったシーンですが、米メディアの動画で、「ショウヘイが一塁へ行く時に、ゴミをさり気なく拾い上げた。」と紹介したのです。

すると、たくさんの称賛の声が寄せられたのです。米ファンからは「私たちが必要としていたヒーローだ」「すべての子供に見てもらいたい偉大な模範」

「投げて打って、地球のことまで考えているのか?」「大好きだ。一流の振る舞い」などと、絶賛の声が寄せられたのです。

大谷選手は自慢げにでもなく、人に知ってもらおうという意識もなく行ったことで、たまたま人の目に留まっただけの事でしょう。

陰徳あれば陽報ありともいいます。人知れず善事を行うといつか良い報いがある、というものです。

また「積善の家には必ず余慶あり」という故事成語がありますが、こちらは「善行を積み重ねた家には、その行いの報いとして必ず幸せがやってくる」という意味です。その報いは善い行いをされた人に限らず、子孫にまで影響するといふものです。

さて、私は車を運転しますが、時々渋滞時に横から割り込みをしてくる車があります。できるだけ、「どうぞ」と入れてあげます。すると多くの車はハザードランプを点滅したり、頭を下げたりして感謝の気持ちを返してきます。しかし中には、入れてもらって「当然」と思ったのか、何の返しもありません。感謝しろ!というわけでもないのですが、やっぱりちよつと残念な気持ちになります。そしてそんな見返りを求める自分にも後ろめたさを感じます。なんてちつさい人間なんだ!陰徳からかけ離れた心の持ち主か!と自己嫌悪にもなります。みなさんはどうでしょうか。

陰徳を積んでいる人の多くは、心穏やかで謙虚な人が多いです。

陰徳を積むことで、きつと段々そういう心の境地に立つと言う事かもしれません。そしてその行為は、生き方を変える行為でもあります。自分のために生きるのではなく、他人のために生きるという生き方はとても難しいことです。

しかし、真の豊かさと言えるのは、物質欲などではなく、心の平穏です。

人生は一度きりしかありません。もし自分が亡くなる時、後悔しない生き方をするためにも、まずは自分のできる方法で陰徳を積んでみましょう。